

園芸

野菜生産者のつどい～農家所得増大と産地確立に向けて～

野菜部会とJAは2月2日、「野菜生産者の集い」を花巻温泉（花巻市湯本）で行いました。生産者やJA、市場関係者や行政など約150人が集まり、これまでの取り組みや平成30年度の目標を全員で共有し、意識統一しました。



◆研修：野菜生産におけるリスク低減に向けて

中央農業改良普及センターの土田典子さんによる研修では、自分たちの身の回りにおけるリスクについて考え、また右記のようなリスクを低減させるためにどうすれば良いか、実際にある農業現場の写真などを使いながら、さまざまな事例から対策を考えました。

農産物の安全性▶残留農薬、異物混入、食中毒
環境の保全▶土壌汚染、水質汚染
労働の安全▶労働作業事故など

◆平成30年度 野菜推進方針について

- 一億円販売園芸団地推進（1000万円販売組織を4組織から10組織へ。指導や助成制度も強化）
- アスパラガスの面積拡大（12.7ha増へ）
- ピーマンの面積拡大（共同選果で収益性も高い）
- 秋植え玉ねぎと地域重点野菜の拡大
- 流通販売対策

18億7000万円の販売計画で
生産者とJAが一致団結し、進めます！

米 穀

岩手県オリジナル品種「銀河のしずく」ブランド化に向けて発進！

JAは2月21日、「銀河のしずくに係る調理師会等との意見交換会」を総合営農指導拠点センター（花巻市野田）で行いました。調理師会や生産者、宿泊施設の料理人やブランド化の推進・栽培指導を行うJAや行政担当者など36人が参加しました。

▼意見交換会内容

- ①生産やPRなどの取り組みについて報告
- ②3種類試食会
炊きたて・握り寿司・釜飯
※回転船「清次郎」が2月9日よりシャリに「銀河のしずく」を使用
- ③意見交換会（ブランド化・認知度向上・PR方法）



試食した料理のプロや生産者、指導・推進担当者などそれぞれの意見はどれも高い評価でした。

【炊きたて】香りがよく、艶や色など見た目美しい。のどごしや味わい、粘りや甘みのバランスが良い。おかずとの相性が良い。冷めても良食味。
【握り寿司】他の食材やネタを引き立てる米。米の白さが高級感を出している。酢飯とわさび醤油にも合う。
【釜飯】具材と食材の味がしっかりしている。釜飯にしても艶やか。売りである白さを出せないのは課題。



料理のプロが「おいしい」と言ってくれたのは自信に繋がる。期待に応える米作りを全力で続ける。

ブランド化にむけて、農工商・関係機関が連携し地域内外に知ってもらい活動を行う。農家が安心して作れるよう、販売や指導を強化していく。

グリーンセンターの定休日と営業時間

3・4月の定休日と営業時間は次の通りです。ご確認の上ご来店ください。

	定休日	3月の営業時間	4月の営業時間
花巻	3/18(日)	8:30～17:00	平日…8:30～18:00 / 土・日・祝日…8:30～17:00
石鳥谷	3/10(土)・3/24(土)・4/14(土)・4/28(土)		8:30～17:00
大迫	土・日・祝日		8:30～17:00
東和	3/17(土)・4/21(土)		8:30～18:00
北上	3/11(日)・3/25(日)		平日…8:30～18:00 / 土・日・祝日…8:30～17:00
西和賀	3月…土・日・祝日 / 4/1(日)・4/8(日)		平日…8:30～18:00 / 土・日・祝日…8:30～17:00
遠野	3/10(土)・3/24(土)・4/11(水)	8:30～18:00	

※定休日と営業時間はそれぞれの店舗によって異なりますのでご確認ください。

●お問い合わせ／営農推進部生産資材課 ☎ 0198-22-6192 または、最寄りのグリーンセンターまで

園芸

りんご達の応援大会～25万ケースの販売を目指して～

果樹部会とJAは2月9日、「りんご達の応援大会」を渡り温泉（花巻市湯口）で行い、生産者やJA、市場関係者や行政など約140人が集まりました。



◆優秀生産者表彰

生産意欲の向上や産地活性化を目指し、JA出荷農家を対象に優秀生産者を表彰。また、「2017いわて純情りんごコンテスト」で優秀賞を受賞した団体・個人も表彰しました。

販売額の部…販売額の最上位者を表彰

紅いわて…小原忍さん / ジョナゴールド…宇津宮邦昭さん / 蜜入りふじ…浅沼慶直さん

品質の部…秀品率と適玉率の最上位者を表彰

紅いわて…伊藤正孝さん / ジョナゴールド…伊藤敏治さん / 蜜入りふじ…藤原義範さん

◆平成30年生産販売推進方針（抜粋）

農家所得増大と産地形成に向けて！

- 消費者ニーズに合わせた品種のスクラップ（終焉）&ビルド（新導入）
- 新たなマーケティング開発と品種選抜
- 紅口マン・紅いわての高品質産地形成
- 品種別の販売方法と需要期の安定供給
- 販売、消費拡大PRなど

◆パネルディスカッション

初の試みとなるパネルディスカッションは、市場より荒巻万寿夫さん（大果大阪青果株）、伊藤正孝さん（農の匠）、宇津宮邦昭さん（若手りんご生産者グループ会長）がパネラーとなって、生産者の所得増大のための方向性を探りながら、活発に話し合いました。



若手りんご生産者グループ
～宇津宮邦昭会長による事例報告～

生産・研究・販売PR・食育など、りんご産地の活性化に向け精力的に活動する THE RINGO STAR!

1年間の活動を宇津宮会長が映像と共に発表しました。1年かけて撮影してきた出前授業用の動画の一部も流し、会場を熱くさせました。



園芸

二子トマト組合 設立50周年！

北上市二子地区の農家を中心に構成する二子トマト組合は、組合設立から50周年を迎えました。組合は、設備整備や品種更新など長年にわたり柔軟な取り組みを行い、年々出荷数量を伸ばし続けてきました。現在ではJA出荷量の約8割を担っており、今年度は販売額約6900万円を計上。努力が実を結び、過去最高を記録しました。



2月9日には、市内のホテルで記念式典を開催。組合員やJAなど39人が参加し、半世紀の長い歴史を振り返ったほか、乾杯で節目を祝いました。



好奇心の積み重ねが長年にわたる生産性の向上を築いてきた。今後も関係機関のご指導をいただきながら、更なる生産率の向上を目指して歩み続けたい。

石川玲組合長

園芸

原木シイタケ産地再生に向けて
研修会を開催

花巻・北上・遠野地域菌茸生産部会とJAは2月21日、3地域合同で「原木しいたけ生産流通研修会」を花巻市東和町で開きました。



研修会では、平成29年度の生産販売状況と平成30年度事業の推進方針について確認。また、福島第一原子力発電所事故による出荷制限の解除が進むなか、生産者の増加と生産拡大やブランド化による原木シイタケの産地再生に向けた取り組みと、平成30年度の春子対策と栽培管理の要点について研修を行いました。



同部会花巻地域の藤田光一部会長は「生産拡大には皆さんの力が必要。関係機関や生産者が一丸となり取り組もう」と呼びかけました。